

第二回 脳表現型の 分子メカニズム研究会

- 【日程】 平成23年11月19日（土）13時～18時30分
【場所】 東京大学医学部教育研究棟2階
第一・第二セミナー室
【参加費】 無料（事前登録制）
【URL】 <http://www.sp-web.sakura.ne.jp/study.html#mecha2>
【協賛】 包括型脳科学研究推進支援ネットワーク

ヒト脳表現型の分子機構の解明のためには、ヒトレベル、動物レベル、細胞レベル、そして分子レベルにおける検討が必要です。レベルが分子に近づくほどそのメカニズムを明らかにすることができる一方、ヒトにおける分子メカニズムを反映しなくなるという問題点があります。

そこで本研究会では、ヒトの脳表現型とゲノムとの関連を検討することがそのミッシングリングとなると考え、脳科学分野を中心に様々な研究分野の研究者（神経科学、分子生物学、ゲノム科学、精神医学、脳画像学、認知科学、神経生理学、心理学等）が集まり、交流することにより新たな研究分野を開拓・推進することを目的とします。

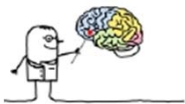
研究会においては、それぞれの脳表現型の研究手法や内容を解説し、その後、事例を紹介して、具体的な共同研究に進めていくことを念頭に置いたディスカッションを中心に進めていきます。

ご興味のある方々のご参加をお待ちしております。
事前登録制となりますので、登録方法等は下記URLをご参照ください。



📍事務局

大阪府吹田市山田丘2-2 D3 Tel & Fax: 06-6879-3074
大阪大学連合小児発達学研究科 橋本亮太
E-mail: spjimu01@psy.med.osaka-u.ac.jp
<http://www.sp-web.sakura.ne.jp/study.html#mecha2>



チュートリアルコース： ゲノムを用いた脳表現型のトランスレーショナルリサーチ

【日程】平成23年11月19日（土）13時～18時30分

【開催場所】東京大学医学部教育研究棟2階 第一・第二セミナー室

【参加費】無料 事前登録制（チュートリアル資料を参加者に配布予定）

プログラム


-臨床研究-

- 13:00 「ヒト脳表現型コンソーシアム概説」大阪大学連合小児発達研究科 橋本亮太
- 13:30 「精神疾患とゲノム」藤田保健衛生大学精神医学教室 池田匡志
①様々な精神疾患の概説②ゲノム多型の意義③ゲノム解析の手法と意義④実例
- 14:00 「認知機能とゲノム」富山大学精神医学教室 住吉太幹
①認知機能の概説（IQ、記憶、実行機能等）②精神疾患の認知機能障害③実例
- 14:30 「脳神経画像とゲノム」東京大学精神医学教室 山末英典
①脳画像の概説（3D構造画像、DTI、fMRI；脳部位における機能）
②精神疾患における脳画像異常③実例
- 15:00 「神経生理機能・人格傾向とゲノム」国立精神・神経医療研究センター 高橋秀俊
①神経生理機能の概説（PPI、NIRS、EEG等）②精神疾患における異常③実例

～ ポスター発表・ディスカッション（コーヒープレイク）～

-基礎研究-

- 16:30 「ゲノム多型の機能解析：発現解析」東京大学神経生理学教室 中澤敬信
①ゲノム多型の基本的な説明＋その解析の仕方、ミスセンスやナンセンスと expression（プロモーター、ESE、microRNA等）
- 17:00 「ゲノム多型の機能解析：神経細胞機能」日本医科大学薬理学教室 小林克典
①ゲノム多型の解析の仕方：神経細胞機能・回路機能の説明とその解析法
- 17:30 「ゲノム多型の機能解析：行動解析」藤田保健衛生大学システム医科学 宮川剛
①ゲノム多型の解析の仕方：モデル動物の考え方とその行動評価
- 18:00 「ゲノム多型の機能解析：霊長類」京都大学霊長研 今井啓雄
①モデル動物としてのヒトとの相同性（ゲノム多型、行動、脳機能）
②サルにおける解析手法（遺伝子導入、トレーサー実験、電気生理実験、破壊実験等）

 ポスター発表募集いたします

本研究会は包括型脳科学研究推進支援ネットワーク（文部科学省科学研究費補助金）後援にて行われます。ポスター発表者には交通費の一部を支給させていただきます。皆様のご参加お待ちしております。

